

# 「コミュニティ・スクール川上」通信



発行：川上小学校運営協議会

つなごう！つながろう！  
ふるさと蒜山に誇りをもち  
未来の創り手となる 心豊かな子どもの育成

## 「どんな川上の子になってほしいか」

- ・ 蒜山を好きで 蒜山を愛する子
- ・ 蒜山のいいところを受け継いで（スキー、大宮踊、牛乳）
- ・ 蒜山のよさを知って 広めて
- ・ 何事にもチャレンジする子 自信を持って 自主性
- ・ あいさつができる子 礼儀正しい子
- ・ 「ありがとう」が言える子
- ・ 友だちを大事にする子 仲間はずれをしない子
- ・ 蒜山中学校区の他の地区と比べてもおとなしい「いい子」  
だから自己主張できる子になってほしい
- ・ 元気な子 決まりを守る子 話をしっかり聞く子

## 「どんな川上の子になりたいか」

- ・ 蒜山のよさを知りたい 蒜山を自慢できる人になりたい
- ・ 蒜山が有名になったらいい
- ・ もし、蒜山から出ても戻って来たい
- ・ 地元の人々の期待に応えたい
- ・ 川上小学校をなくしたくない
- ・ あいさつやありがとうを言えるようにがんばりたい
- ・ 色々なことにチャレンジしたい
- ・ かしこい子になりたい

## 「熟議」の実践

12月1日の教育講演会後、参加者を小グループに分けて、左記のような話をしました。結論を求めるのではなく、ざっくばらんに思っていることを出し合ってもらいました。

児童・職員・保護者・高校生・地域の様々な思いを聞き合う中で、どんな川上っ子を育てていきたいか、どんな川上っ子になりたいか、思いを共有できる所もたくさんありました。

川上小学校運営協議会では、コミュニティ・スクール川上として、また色々な場面で話し合える機会を作っていきたいと考えています。



教育講演会では、勝山高等学校蒜山校地3年生の生徒さんから「蒜山校地とは」「蒜山校地が取り組んでいること」「PROJECT 蒜香」の発表を聞かせていただきました。ありがとうございました。